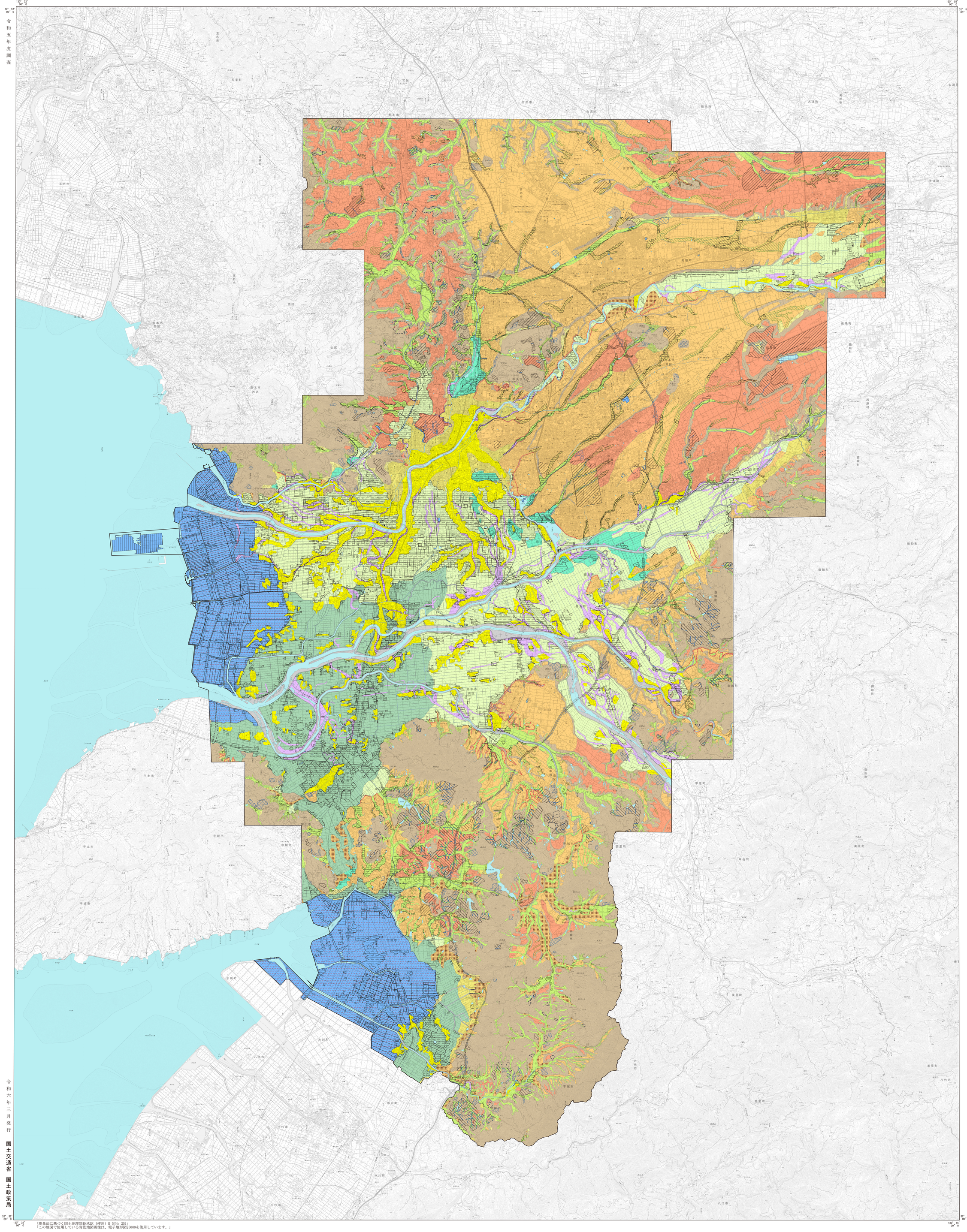
1：50,000
くまもと
土地分類基本調査図（土地履歴調査）

KUMAMOTO
熊　本

Classification Map of Artificial Landform and Natural Landform
人工地形及び自然地形分類図

令和五年度調査



令和六年三月発行

国土交通省　国土政策局

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 251」
「この地図で使用している背景地図画像は、電子地形図25000を使用しています。」

凡　例　Legend

人工地形分類　Artificial Landform

人工平坦地（切り盛り造成地）Artificial ground (cut and fill)

- 宅地等 Flatland for residential use
- 農地等 Flatland for agricultural use
- 旧谷線 Buried valley
- 改変工事中の区域 Area under modification
- 盛土地 Fill-up land
- 埋立地 Reclaimed land
- 干拓地 Drained land
- 切土地 Cut slope
- 人工水面 Artificial water surface

自然地形分類　Natural landform

山地 Mountains

- 山地斜面等 Mountain slopes
- 麓屏面及び崖錐 Colluvial slope or Talus
- 土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow

台地 Terraces and upland

- 砂礫台地（更新世段丘）Gravel terrace (Pleistocene terrace)
- 砂礫台地（完新世段丘）Gravel terrace (Alluvial terrace)
- ローム台地（更新世段丘）Loam terrace (Pleistocene terrace)

低地　Lowland

- 扇状地 Alluvial fan
- 谷底低地 Valley bottom
- 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
- 自然堤防 Natural levee
- 旧河道 Abandoned channel
- 湿地 Wetland
- 三角州・海岸低地　Delta or Coastal lowland
- 砂州・砂堆（礫州・礫堆）Sand bar
- 天井川及び天井川沿いの微高地 Raised bed river
- 河原・河川敷 Dry river bed

水部　Water

- 現水部 Recent water surface
- 旧水部 Former water surface

副分類 Subdivision of Natural landform

- 崖 Cliff
- 凹地・浅い谷 Depression ・Shallow valley

1.「自然地形分類図」は、2万5千分の1土地条件図「熊本市北部」(国土地理院,2012)、同「熊本市南部」(国土地理院,2012)、2万5千分の1治水地形分類図（更新版）「肥後大津」(国土地理院,2009)、同「肥後船津」(国土地理院,2010)、同「熊本」(国土地理院,2010)、同「健軍」(国土地理院,2009)、同「網津」(国土地理院,2010)、同「宇土」(国土地理院,2009)、同「御船」(国土地理院,2009)、同「甲佐」(国土地理院,2009)、同「鏡・八代」(国土地理院,2010)を基礎資料として編集したものである。基礎資料がない地域に関しては、以下の既存資料を参照し、空中写真及び旧版地形図の判読により作成した。参考にした既存資料は2万5千分の1沿岸海域土地条件図「熊本」(国土地理院,1977)、同「八代」(国土地理院,1974)、2万5千分の1都市圏活断層図「阿蘇」(国土地理院,2017)、同「熊本（改訂版）」(国土地理院,2017)、同「八代（改訂版）」(国土地理院,2018)、及び5万分の1土地分類基本調査（地形分類図）「高瀬」(熊本県,1971)、同「菊池」(熊本県,1980)、同「熊本」(経済企画庁・熊本県,1957)、同「御船」(熊本県,1982)、同「八代」(熊本県,1984)、同「砥用」(熊本県,1983)。
判読に使用した空中写真はM100（1947年3月4日米軍撮影）、M127（1947年3月18日米軍撮影）、M171（1947年3月13日米軍撮影）、M247（1947年4月11日米軍撮影）、M259（1947年4月17日米軍撮影）、M273（1947年5月9日米軍撮影）、M660-1（1947年11月19日米軍撮影）、M826（1948年3月5日米軍撮影）、M827（1948年3月5日米軍撮影）。

2.「人工地形分類図」は、調査時点の最新の電子地形図25000の読図並びに基盤地図情報（数値標高モデル2023年7月14日入手）、 空中写真CKU20213（2021年8月5日国土地理院撮影）の補足判読より作成したもので、基本的には電子地形図25000による地形の状況を反映しているが、最新の地形改変の状況が表現されていない場合がある。

3.自然地形分類の現水部については、数値地図（国土基本情報. 2023年7月14日入手）の水涯線及び海岸線のデータを編集して作成した。

4.本図の作成に当たっては、名古屋大学の海津 正倫名誉教授、熊本大学の竹内 裕希子教授、熊本大学の米島 万有子准教授のご指導をいただいた。

摘　要

1. 経緯度の基準は世界測地系
2. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、
   座標帯は第52帯、中央子午線は東経129°
3. 作業機関　国土地図株式会社
4. 背景地図　電子地形図25000（令和5年7月調製）
5. 対応する二次メッシュコード
   483064, 483065, 483066, 483067, 483074, 483075, 483076, 483077, 493004, 493005, 493006, 493007, 493014, 493015, 493016, 493017, 493024, 493025, 493026, 493027, 493034, 493035, 493036, 493037

行政区画

索引図

（　）内は所属20万分１地勢図名

熊本県
1.熊本市　2.合志市　3.宇土市　4.宇城市
5.大津町　6.菊陽町　7.益城町　8.嘉島町
9.御船町　10.甲佐町　11.玉名市　12.玉東町
13.和水町　14.山鹿市　15.菊池市　16.西原村
17.山都町　18.美里町　19.八代市　20.氷川町

1：50, 000　熊本

1000m　0　1000　2000　3000

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (C) 2024